

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2026年（財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本記録会要項及び申合せ事項よって行う。

2 競技場使用について

- (1) ウォーミングアップは、各クラブ毎に、指定された場所で行う。
- (2) 競技において、裸足は、一切禁止する。
- (3) 雨天走路内は、招集場所、表彰者待機場所として使用する。雨天走路への出入りは、選手・登録コーチ・審判員のみとする。また、着替えのための更衣室の使用もできる。

3 競技者の招集について

- (1) 招集は、全種目、雨天走路北側にて行う。招集開始時刻～招集完了時刻の間に完了すること。（招集完了時刻に間に合わない場合は、欠場とみなすので十分に注意すること。）
- (2) 競技への出場をやむを得ず棄権する時、招集開始時刻までに、登録コーチ等が、その旨を情報処理係に連絡すること。

4 競技運営について

- (1) レーンで行う競技種目は、棄権者があった場合、そのレーンは、空けたままとする。ただし、50mと3年100mは、奇数レーン、50mHは、2～8レーンを使用する。
- (2) 時計は、写真判定（1/100秒）とする。
- (3) トラック競技は、タイムレースとする。
- (4) 小学1、2年生は、スタンディングスタート、小学3年生以上は、スタブロを使用したクラウチングスタートとし、コールは、全てインクグリッシュコールで行う。
- (5) フライング（不正出発）は、1人2回で失格とする。ただし、その後は、オープン参加とする。
- (6) 50mHは、高さ60cm、台数5台、アプローチ13m、インターバル7.0mとする。
- (7) 走高跳は足から着地する。背中や尻から着地した場合は無効試技とする。足から着地した後、体勢を崩した場合は有効試技とする。
 - ・走高跳バーの上げ方
練習 最初の高さ
100 105、110、115、120、125、128 以後2cmずつ
- (8) 立幅跳、走幅跳、ジャベリックボール投げは、3回試技とし、有効試技のみ計測する。全てフェールの場合、最終試技を参考記録として計測する。
- (9) 抗議は、競技規則第147条③にのっとり、審判長に口頭で申告する。

5 ナンバーカードについて

- アスリートビブスは、配布されたものを胸に付けること。
- 個人のトラック競技種目と400mRのアンカーは、腰ナンバーシールを右臀部に貼る。

6 用器具について

- 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

7 表彰について

- 8位までの入賞者に賞状、3位までの入賞者にメダルを授与する。

8 その他

- 正田醤油スタジアム群馬及び補助競技場で撮影した画像・動画については、個人としての視聴を目的とし、SNS等に掲載しないでください。
- 速報記録は、群馬陸協普及育成委員会 Web ページに随時掲載する。



普及育成委員会QRコード